

<p style="text-align: center;"><b>海外研修Ⅳ</b> (Overseas Training Ⅳ)</p>	<p style="text-align: center;"><b>4 年・通年・1 単位・選択</b> <b>5 学科共通・担当 安田 智之</b></p>	
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)</p>		
<p>〔講義の目的〕 グローバル化が叫ばれている現在、海外の教育機関への語学留学、短期・長期の海外研修、国際交流プログラムに対する学生の積極的な参加を促すとともに、国際的な視野の涵養、異文化に対する意識の向上、学習への意欲を高めることを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕 本校が実施する国際交流プログラムの他、他機関主催の海外派遣プログラムなどにおいて、研修先で用意された研修内容を体験することになる。 なお、研修先においては各自が目標を設定し、積極的な態度で臨む必要がある。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 一定の条件を満たしたプログラムでなければ認定されないため、事前に単位認定申請書を必ず提出し、学校の認定を受けること。海外での研修となるため、高専を代表して参加しているという意識はもちろんのこと、規律を守り、安全にも留意しなければならない。必要な保険等にも加入しておくこと。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化に対する理解を深めるとともに、他者・他国の立場に立ってその価値観の違いを認め、自国の文化についても紹介ができる。</li> <li>・英語をはじめとする、母語以外の外国語を使って、一定のコミュニケーションを図ることができる。</li> </ul>		
<p>〔評価方法〕 研修内容が明記された要項等と、研修等終了報告書の内容をもとに評価する。 なお評価実施の条件として、研修等修了証明書の提出が必要である。 認定に必要な条件を満たしていれば、「合格」の評価とする。</p>		
<p>〔教科書〕 なし 〔補助教材・参考書〕 本校で実施している、国際交流等の報告会発表が参考となる。</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕 これまでの英語の学習内容だけでなく、歴史や文化に関する幅広い知識が求められる。 研修先の参加者と積極的に交流し、工学・技術の分野だけでなく、文化について学ぶ積極的な姿勢が求められる。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第 1 週	1. 実施時期 夏季休業期間中もしくは学校に認められた期間 2. 実施期間 5 日間以上および合計 30 時間以上 3. 研修の内容 研修先のプログラムによる (研修先の文化に触れ、日本語以外の言語による交流がなされること) 4. 研修先 学校が認めた研修先 (国外) 5. スケジュール 事前に「単位認定申請・認定書」(所定の様式)を学生課教務係で受け取る。 研修終了後、速やかに 「研修等終了報告書」(様式任意) 「プログラム・要項」等、研修内容等が記された書類 「プログラム修了証書」 を提出する。 なお、必要に応じ、研修報告会等を実施することがある。		
第 2 週			
第 3 週			
第 4 週			
第 5 週			
第 6 週			
第 7 週			
第 8 週			
第 9 週			
第 10 週			
第 11 週			
第 12 週			
第 13 週			
第 14 週			
第 15 週			
期末試験・テスト返却・学力補充期間			

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)